



弟のゆうき君と

自分にできることを!

中学2年生の遥輝くんは「形の悪いひとみ人参やレモネードを売って小児ガンの募金に役立てたい」とお母さんと弟さんと3人で人参の収穫にみえました。

遥輝くんに、なぜこのような活動を始めたのかを聞きました。

「世の中が便利になったけど、地球温暖化になり、デメリットが大きくなってしまったとお母さんから聞いて、どうやってそれをかかえて生きていったらいいのか、と思っていた時に環境活動家の谷口たかひささんの話を聞き、影響されました。中1になって自分にできることをやろうと思い、社会活動を始めました。」という遥輝くん。

世の中の矛盾に心を痛めできることを始めている遥輝くんに大きな希望をもらいました。

お二人からのメールもご紹介させていただきます。(あらき)

「食べて美味しかったです!!農家で働く気持ちがいっぱい伝わりました。農家の仕事が大変だとわかりました。

野菜を収穫することは抜くだけでなく、洗ったり売ったり大変だと思います。

収穫するだけでなく、泥団子を作る遊びを見つけたり、色んな人とお話ができて、

あらきさんの畑がもっと好きになりました!また会いに行きます。」(ゆうきより!)

「今日はありがとうございました。」

自然に触れることは、人間らしさを保つことが出来たり、自然を慈しむ気持ちを持ち続ける、貴重な機会だと思いました。もうすぐ中3で忙しくはなりますが、何かお手伝い出来ることがあればと思います。家で食べるお野菜を作ってくださいる方たちのお顔を見ることが出来るのは、美味しさと安心の秘訣だと思いました。美味しく安全なお野菜をありがとうございます。」(遥輝より)



人参の販売

お届けの野菜 ・ひとみ人参・ブロッコリー・その他・子持ち高菜・ほうれん草・葱

簡単レシピ 菜の花のお浸し ・1リットルの水に塩ティースプーン1杯を入れ沸騰したら、菜の花の下の方を1分茹でた後穂先の方も入れて更に30秒茹でる。・その茹で汁100mlに醤油と味醂各小さじ2と1/2を入れ、水に入れて冷やして絞った菜の花をそこにに入れて浸す。(白ごはんより抜粋)

主な作業 なす・ピーマン・パプリカの種を蒔く、レタスの定植、トマトの鉢上げ、堆肥積み、竹の伐採等。

畑だより あたたくなくなりどの野菜も花を咲かせる成長に変わっているのでその前に収穫をしなくてはいいかと焦る日々です。

3月の絵本紹介



「漢字はうたう」(杉本深由紀/詩 吉田直令/絵 あかね書房 2018年)

3月らしい表紙です。中表紙から野の花や虫たちが生き生きと、春から始まる春夏秋冬の詩の絵本です。漢字のなかに見つけた文字を、詩に読み込んだ、楽しい遊びで、見開きに一つの詩とイラストが描かれ読みやすいですよ。

たとえば漢字の「字」、子どもがポッチのついたベレー帽をかぶっているように見えるでしょうか。では、「春」という漢字は? 三人の日と書きますね。「春ってともだちが好き・・・なかよし二人に春がいう あのこもいれてあげようよ 一人ぼっちをつくるより ほらね ほっこりあったかい」木のかげからうらやましそうに子ぎつねが、女の子とうさぎのままごとを見えています、気づいた二人は招き入れてあげるみたい。「本

本はむかし木だった・・・など。素朴で懐かしさを覚える温か味ある色合いの絵は詩にぴったり。自分も漢字で詩を作ってみたくなるかも!(市川、細井あゆみ)

3/26 (木) ひとみ人参・里芋・ほうれん草・ねぎ等

野菜の傷みや苦手な野菜なので別の野菜にとのご要望がありましたらご連絡ください。